

TPPから十勝の経済と暮らしを守る決議

私たち「TPP問題を考える十勝管内関係団体連絡会議」は、平成25年3月1日に発足し、4300人が参加した「TPPから地域・経済・生活を守る十勝大会」を皮切りに、この2年半、加入の30団体が連携して、地域住民や消費者を対象とした勉強会や研修会を開催するなど、幅広くTPP問題について理解を深める活動を行ってきました。同時に、政府や関係省庁、国会議員に対して、TPP参加が地域の経済や暮らしに与える影響への不安を強く訴えてきました。

しかし、TPP交渉過程においては、情報提供が国民に全くされないままに今般の大筋合意に至り、内容についても未だ説明が不十分であり、具体的な影響や対策が示されていないことから、農林漁業者をはじめ多くの地域住民から不安と懸念の声が聞こえてきます。

私たち十勝地域にとって最も重大な関心事であった農産物重要5品目について、政府は「聖域」として関税撤廃を阻止したとしていますが、時間をかけて関税削減や輸入枠増となるものが多々あり、十勝地域の農業や関連産業への長期にわたる様々な影響が懸念されます。

また、11月5日に公表されたTPP協定の全章概要には、関税、関税割当及びセーフガードについて、米国など5カ国から要請された場合には、協定発効7年後から再協議を行うことが明記されているところであり、私たちの不安と懸念はますます募るばかりで払拭することができません。

このため、当面、次のことを強く求めます。

記

- 1 政府においては、今後、地域の実情に応じて極め細かく対策を取っていくうえでも、TPPの全分野について、地域経済や国民生活全般に与える影響について速やかに分析を行い、その結果を合意内容の詳細とともに、十勝地域はもとより、道内の地域ごとに丁寧な説明を行うこと。
- 2 政府は、将来にわたって意欲ある担い手が希望を持って経営に取り組めるよう、十勝の農林水産業が確実に再生産を図り持続的な発展ができる万全な対応を行うこと。

以上、決議する。

平成27年11月7日

「TPP問題を考える十勝管内関係団体連絡会議」団体長会議

ＴＰＰ問題を考える十勝管内関係団体連絡会議

北海道菓子工業組合十勝支部	十勝地区トラック協会
十勝医師会	帯広市医師会
十勝歯科医師会	北海道薬剤師会十勝支部
十勝勤医協友の会連絡協議会	帯広建設業協会
十勝測量設計協会	北海道土地改良事業団体連合会十勝支部
十勝消費者協会連合会	帯広商工会議所
北海道十勝管内商工会連合会	帯広民主商工会
連合北海道十勝地域協議会	帯広地区労働組合総連合
新日本婦人の会帯広支部	平和運動フォーラム十勝ブロック協議会
十勝管内漁業協同組合長会	十勝地区森林組合振興会
十勝地区農業協同組合長会	十勝農業共済組合
全十勝地区農民連盟	農民運動北海道連合会十勝地区協議会
十勝農業委員会連合会	北海道十勝総合振興局
帯広市	帯広市議会
十勝町村会	十勝町村議会議長会

(30団体 順不同)